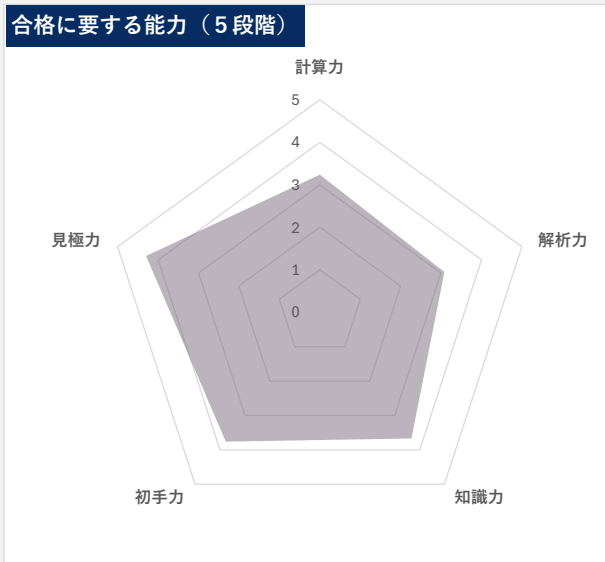


総合分析

試験区分	一般 (前期)
------	---------

制限時間	90分	大問数	全 4 問
------	-----	-----	-------



出題分野

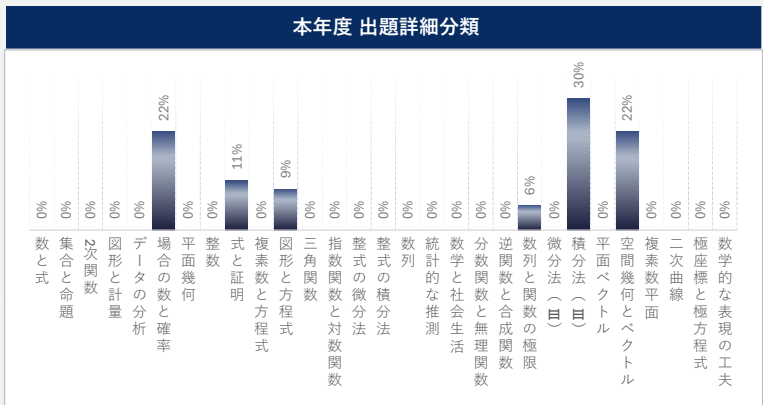
数学 I	0%
数学 A	22%
数学 II	20%
数学 B	0%
数学 III	35%
数学 C	22%

本年度出題テーマ一覧

第 1 問	区分求積法と数列の極限
第 2 問	空間ベクトル
第 3 問	斜軸回転
第 4 問	二項係数とランダムウォーク

本年度 解答形式

論述	100%
----	------



合格に要する能力 (5段階)

計算力	3.0	高度な計算をやり遂げる力
解析力	2.9	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.5	解くことに必要な知識の量
初手力	3.6	初手の難しさ
見極力	4.1	解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無

特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.5	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	71%
分量	90分	完答に要する時間 (制限時間は90分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

入試から見る大学が求める学生像

決して易問ばかりというわけではないが、難関大を目指している学生は必ず経験しているであろう問題ばかりだった。逆に経験がないとなかなか難しい問題だと思うので大きく差がついただろう。教科書だけでなく、しっかりと受験勉強に取り組んだ学生・努力できる学生を求めていると考えられる。